

発見！白井の仕事人 64

〜地元農家発展のために日々奮闘中〜
林健一さん

今回は、神々廻地区で野菜の生産に取り組んでいる林健一さんを紹介します。



収穫期を迎えたダイコン畑

林さんは、実家が農家で、子どもの頃から手伝いをしてきたため、全くの未経験者ではありませんが、本格的に農業を始めて2年目の新規就農者です。

農作業の担い手が少なくなっている今、かつて近所の人たちに助けてもらっていた分、今度は自分が「周りの人々を助けていこう」「少しでもみんなの力になろう」と思い、日々奮闘しているそうです。

現在は、約15種類の野菜を母親の手を借りながら、ほとんど一人で生産しています。

6月からは、育てたダイコンを給食センターに納品し、市内の小・中学校の給食で提供されています。

これからの取り組みについては「ネギを市場出荷できるように

にして年間を通してサツマイモとバランス良く安定した出荷ができるようにしたい」と話します。

ネギを種まきから行った初めての挑戦は失敗してしまったそうですが、周りの先輩や同年代の知り合いに新しい技術などを教えてもらいながら成功に向けて挑戦を続けています。

今後の目標は「規模の拡大を目指して野菜を効率よく出荷し、地元農家の未来を支える担い手になる」と力強く答えてくれました。

林さんの野菜は、「JA西印 産農産物直売所やおばあく」や「白井の湯」、「船橋カントリークラブ内売店」などに出荷されています。

地元で生産された新鮮野菜を味わってみませんか。



大きく育ったダイコンを手にとる林さん

問 産業振興課農政班 内線
3 2 4 6